9607R588HK5903

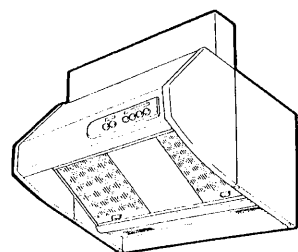
MITSUBISHI

ブース形(深形)レンジフードファン

形　名

V-602K・V-604K・V-604KD
V-604KG・V-604KE・V-605K
V-754K・V-754KD・V-904KD

取扱説明書

お客さま用

もくじ

ページ

安全のために必ず守ること……1～2
各部のなまえ……3
使用方法……4
お手入れのしかた……5～6
修理を依頼される前に……6
アフターサービス……7
仕様……7

正しく安全にお使いいただくためにこの説明書を必ずお読みください。なお、ご使用の前に「安全のために必ず守ること」を確認して、正しくお使いください。

お客さまご自身では取付けないでください。(安全や機能の確保ができません)

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を⚠警告・⚠注意の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
⚠注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

●図記号の意味は、次のとおりになっています。

禁　止	指示に従い必ず行う
分解禁止	電源プラグを抜く
接触禁止	

⚠警告

●交流100V以外では使用しないでください。
（火災や感電の原因になります）
●製品に水をかけたりしないでください。
（ショートや感電の恐れがあります）
●ガス漏れに気付いたときは、電気器具(換気扇その他)のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しはしないでください。
（爆発や引火の恐れがあります）

●どんな場合でも改造はしないでください。分解・修理は修理技術者以外の人は行わないでください。
（火災・感電・けがの原因になります）
修理はお買上げの販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。

●電源プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭いてください。
（火災の原因になります）

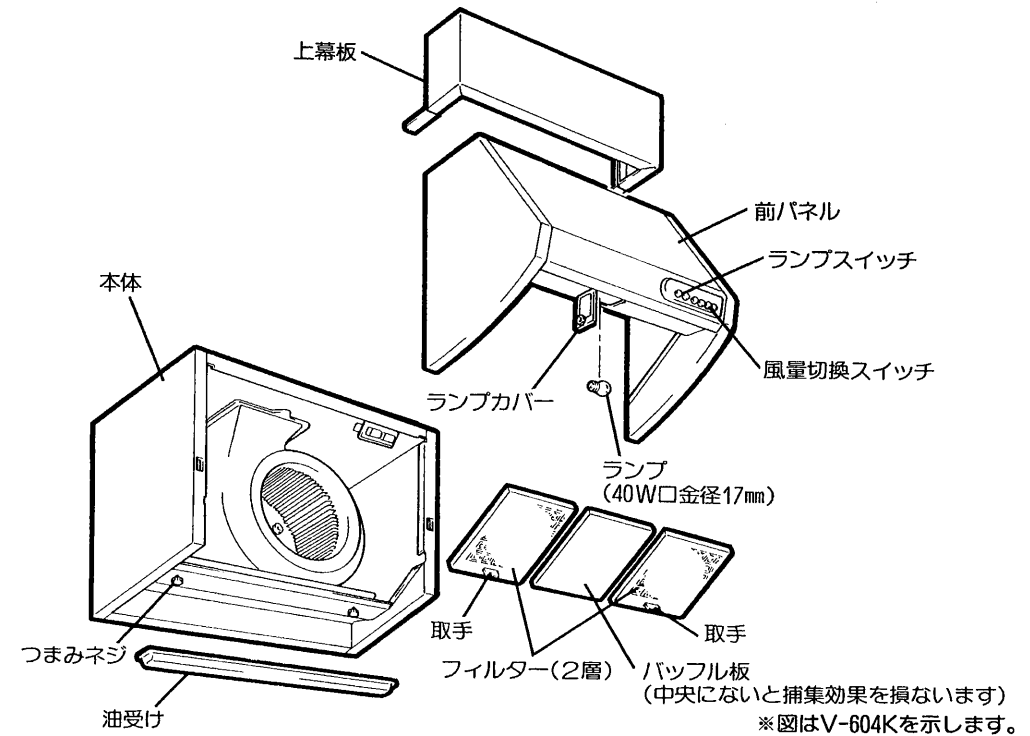
●お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。またぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。（感電やけがをすることがあります）
●ランプを交換するときは電源プラグを抜いてから行ってください。（感電することがあります）

⚠注意

●本体に異常な振動が発生した場合は使用しないでください。
（本体・部品の落下によりけがをする恐れがあります）
●指定以外の電球を使用しないでください。
（ランプ周辺が高温になり、やけどをする恐れがあります）

●運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れないでください。
（けがの恐れがあります）

●お手入れの際は手袋を着用して行ってください。(金属等の端面でけがをすることがあります)
●電源プラグを抜くときには、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。（感電やショートして発火することがあります）
●お手入れ後、部品の取付けは確実に行ってください。
（落下によりけがをする恐れがあります）

●長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
（絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります）

お　願　い

周囲温度が40℃以下になるよう下図の寸法になっているか確認する

（本体の下端からガスレンジまでは80cm以上必要です）

（モーター焼損や排気ガスによる塗装面のサビ発生の原因となります）

レンジを空だき状態で長時間使用しない

（故障の原因になります）

ガスレンジを使用するときは、必ずレンジフードファンを運転する

（レンジフードファンを運転しませんと、本体内の温度が高くなり故障の原因となります）

屋外排気口下側には油煙がかかる場合がありますので、物を置かない

（植木が枯れたり、物が汚れる原因になります）

料理中、誤ってフライパンなどの油に火がついたときは、ふたをするなどして火を消すと同時にレンジフードファンの運転を停止する

（レンジフードファンを運転していますと火の勢いがよけいに強くなります）

酸・アルカリ・有機溶剤などの薬品がかからないか確認する

（サビ発生の原因となります）

レンジフードファンは局所換気用です。台所全体の換気には他の換気扇を併用してください。また風の影響を受けやすいため付近の窓を閉めてご使用ください

（油煙等の捕集効果がよくなります）

密閉された建物では、汚れた空気を排出するとき新鮮な空気の入るところが必要です。レンジフードファンの反対側に空気取入口があるか確認する

各部のなまえ

※図はV-604Kを示します。

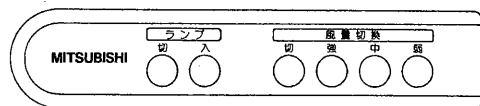
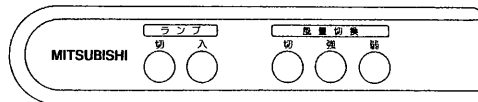
フィルターとバッフル板の枚数・取付位置

V-602K･V-604K･V-604KD V-604KG･V-604KE	V-605K	V-754K･V-754KD	V-904KD
		バッフル板 大	バッフル板 大
フィルター　2セット バッフル板　1枚	フィルター　3セット	フィルター　2セット バッフル板　大1枚 小1枚	フィルター　2セット バッフル板　大1枚 小2枚

[お願い]	●フィルターとバッフル板の取付位置を確認してください。 ●V-754K,V-754KDの場合、バッフル板大がガスコンロの中央にくるようバッフル板小を左右に移動してください。 （捕集効果を高めるために必要です）

使用方法

風量切換スイッチとランプスイッチを操作します。

■V-604K・V-604KE・V-604KG
V-605K・V-754Kの場合

■V-602Kの場合

■V-604KD・V-754KD・V-904KDの場合

調理をするとき

風量切換スイッチの「強」・「中」・「弱」のいずれかのスイッチを押します。
V-602Kの場合は、「強」・「弱」のいずれかを押します。
目安として……

「強」……………煙が多く出るものを調理するとき
「中」・「弱」……煙が少ない場合や調理後の脱臭をするとき

調理中手元が暗いとき

ランプスイッチの「入」を押します。
ランプが点灯します。

運転停止をする場合

風量切換スイッチの「切」を押します。

ランプを消灯する場合

ランプスイッチの「切」を押します。
ランプが消灯します。

ランプが切れたとき……

100V、40W、口金径17㎜のランプをお求めのうえ交換してください。(6ページ参照)

V-604KEの場合 …電気式シャッター組込形

このタイプには電気式シャッターが組込まれていますので、風量切換スイッチ(強・中・弱)を押して運転を開始すると同時にシャッターが開きます。
風量切換スイッチ(切)を押しますと、運転が停止すると同時にシャッターが閉じます。

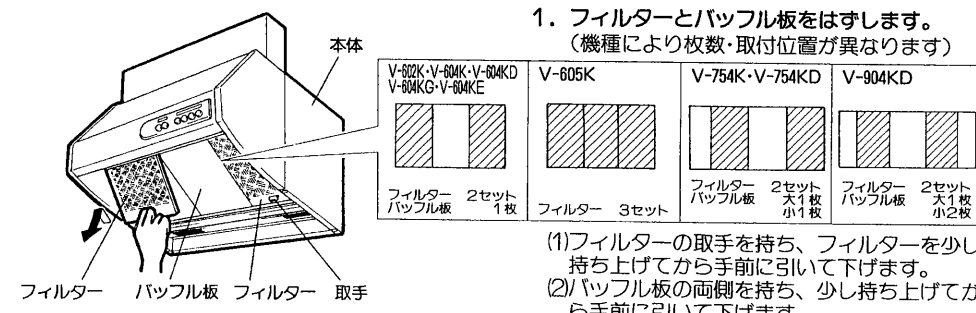
V-604KGの場合 …ガス湯沸器連動形

このタイプは市販の換気扇連動スイッチ・圧力スイッチを組合わせてガス湯沸器と連動運転ができます。

- 風量切換スイッチを「切」にしておいてもガス湯沸器を使用しますとレンジフードファンが「強」運転し、ガス湯沸器を止めるとレンジフードファンも停止します。
- 風量切換スイッチを「中」または「弱」にして運転中、ガス湯沸器を使用しますとレンジフードファンが「強」運転に切換わり、ガス湯沸器を止めるとレンジフードファンは「中」または「弱」運転に切換わります。

お手入れのしかた

レンジフードファンが汚れてきましたら、下記の方法でお手入れしてください。
お手入れのときは、必ず風量切換スイッチとランプスイッチを「切」にして行ってください。
本体内装をお手入れするときは電源プラグを抜いてください。
板金部品の切り口でけがをしないよう手袋を着用してください。

フィルターの清掃

1. フィルターとバッフル板をはずします。
(機種により枚数・取付位置が異なります)

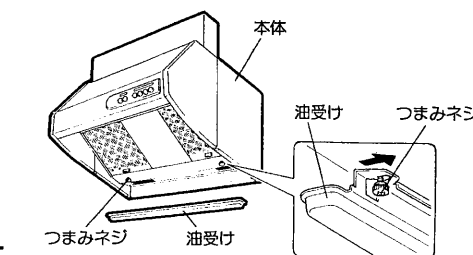
(1)フィルターの取手を持ち、フィルターを少し持ち上げてから手前に引いて下げます。
(2)バッフル板の両側を持ち、少し持ち上げてから手前に引いて下げます。

2. はずしたフィルターを分解します。
3. フィルターは中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸して、フィルターの目にそってスポンジなどで軽くこすって汚れを落とします。
バッフル板は中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸して、スポンジなどで軽くこすって汚れを落とします。
フィルターとバッフル板は汚れを落としたあと、きれいな水で洗いよく乾かしてください。

[お願い]	●フィルターは変形しやすいものです。取扱いには十分注意してください。 ●金属タワシは使用しないでください。

フィルター取手付
取手
フィルター
長穴

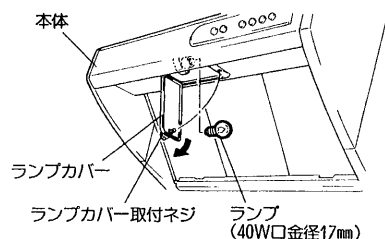
4. フィルターを組立てます。
●フィルター取手付をフィルターにはめ込み、取手を長穴に差し込みます。
5. バッフル板は取付位置を間違えないように3ページの表組で確認して取付けます。(補集効果を高めるために必要です)
6. フィルターは取手を持ち元の位置に取付けます。

油受けの清掃

1. つまみネジ(2本)をゆるめます。
2. 油受けを後にずらして下げます。
●油受けは傾けないようにしてください。
3. 油受けは中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸して汚れを落としてから、きれいな水で洗いよく乾かしてください。
4. 元通り取付けます。

本体外装・内装のお手入れ

●本体の清掃は中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り洗剤が残らないよう乾いた布でよくふき取ってください。

[お願い]	●お手入れに下記の溶剤を使用しないでください。 シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤 (変質したり、塗装がはげたりする原因になります)

ランプの交換

1. ランプカバー取付ネジをゆるめ、ランプカバーを開けます。
2. ランプを取出し、市販のランプ(小形白熱電球100V40W口金径17㎜)をお求めのうえ交換してください。

[お願い]	●必ず指定のワット数以下のものをご使用ください。

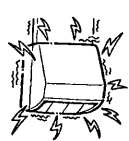
3. 取付けは取りはずしと逆の順序で行います。
4. ランプスイッチ「入」を押して点灯を確認します。

修理を依頼される前に

このような症状があれば点検してください。

スイッチを入れても羽根が回転しない。

ブレーカーが切れていませんか?
または停電ではありませんか?
プラグがコンセントに接続されていますか?

運転中に異常音や振動がある。

取付ネジがゆるんでいませんか?
本体に前パネル・油受け・フィルターが確実に取付けられていますか?

ランプを「入」にしても点灯しない。

ランプが切れていませんか?
電源が「入」になっていますか?

点検・処置をしても直らないときは

電源を切って必ず販売店に点検・修理をご依頼ください。
費用については販売店とご相談ください。

アフターサービス

三菱レンジフードファンのアフターサービスは、お買上げの販売店へお申しつけください。
なお、おわかりにならないときは、三菱電機お客さま相談窓口一覧表(取扱説明書同封)のお近くの相談窓口にお問い合わせください。

■補修用性能部品の最低保有期間

換気扇の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6年です。
この期間は通商産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕　様

形　名	電圧(V)	ノッチ	消費電力(W) 50Hz	消費電力(W) 60Hz	風量(㎥/h) 50Hz	風量(㎥/h) 60Hz	騒音(dB) 50Hz	騒音(dB) 60Hz	質量(kg)
V-602K	100	強	50	54	445	425	36	35	15.5
		弱	35	37	295	285	28	27.5	
V-604K V-604KD V-604KG	100	強	77	88	600	575	39.5	39	17.5
		中	42	46	350	335	30.5	29	
		弱	17	18	205	195	25	25	
V-604KE	100	強	90	105	600	575	42.5	41.5	19.0
		中	45	48	350	335	32.5	31	
		弱	21	22	205	195	25	25	
V-605K	100	強	123	143	785	740	45.5	44.5	17.5
		中	84	85	460	415	34	33	
		弱	72	70	325	285	28	27	
V-754K V-754KD	100	強	77	88	600	575	39.5	39	19.5
		中	42	46	350	335	30.5	29	
		弱	17	18	205	195	25	25	
V-904KD	100	強	77	88	600	575	39.5	39	21.5
		中	42	46	350	335	30.5	29	
		弱	17	18	205	195	25	25	

※特性はJIS C 9603に基づく。

愛情点検　☆長年ご使用の換気扇の点検を!

換気扇の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6年です。

ご使用の際このようなことはありませんか。
●スイッチを入れても羽根が回転しない。
●運転中に異常音や振動がする。
●回転が遅いまたは不規則。
●こげ臭いにおいがする。

使用中止　故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客さまメモ
サービスを依頼されるとき便利です。

形　名	
お買上げ年月日	年　月　日
お買上げ店名 (住　所) (電話番号)	(　　)

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573-66-2111